



世工振ニュース

編集・発行
 公益社団法人 世田谷工業振興協会
 〒154-0004 世田谷区太子堂 2-16-7
 世田谷産業プラザ 2階
 TEL (03) 3421-2863 FAX (03) 3422-4777
 E-mail: info@setagaya-ia.or.jp
 URL: https://www.setagaya-ia.or.jp/

「新年を迎えて」世工振 会長挨拶



謹賀新年



公益社団法人 世田谷工業振興協会 会長 片平 三郎



公益社団法人世田谷工業振興協会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、よき新年をお迎えのことと思います。

今年の新年は、コロナ禍も未だ収束せず、ウクライナの戦禍も終わりが見えない、世界的に見ても分断や孤立、混迷が深まっていると言われております。これらに起因する資源エネルギー価格の高騰、インフレが当協会会員企業の業務や生活にも多大な影響を与えております。会員の皆様からは、とにかく新しいニーズがないという声が多く聞かれます。また、部品や原材料の調達が出来ない、クライアントへの価格転嫁も出来ない、輸送費の上昇も厳しい、世界規模でのサプライチェーンの影響なのでもできない、などの声もありました。

これら傷ついた日本経済を再生するキーワードは、デジタル化を促すDX（デジタルトランスフォーメーション）と脱炭素社会に向けたGX（グリーントランスフォーメーション）と言われております。DXの方はよくお聞きだと思いますので省きますが、GX（グリーントランスフォーメーション）とは、産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体の変革を目指すものです。

国は新たな制度を設け、中小企業に対して、GXを普及促進させるため、様々な支援策を講じることです。このため、本年当協会としては、DX・GXを念頭に置いて諸事業を組立て、会員企業の導入を支援し、気候変動に伴う異常気象を少しでも抑制出来るよう取り組んで参りたいと思います。

世田谷区の保健医療福祉の拠点「うめとぴあ」は、かつての都立梅ヶ丘病院の跡地に建てられており、その院長だった歌人斎藤茂吉は『新しき年のはじめにおもふこと ひとつ心に つとめて行かな』という短歌を残されています。会員企業が一丸となって、DX・GXの考えを貫いて、この一年を進み大きな意味で地域に地球に貢献出来るよう進んで参りたいと決意しております。

今年が、皆様にとって良い年になりますよう、心より念願しておりますとともに、ともどもに一念を定めて切り拓いて参りたいと思います。本年も工業会や地域の発展のために、お力添えいただければ幸いです。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

【世工振】「第44回新年子どもまつり」に青年部会が参加しました



区内の子どもたちが、さまざまな遊びをとおして交流し、新年の1日を楽しむ「新年子どもまつり」が、2023年1月8日（日）晴天のなか、世田谷公園にて開催されました。

世工振青年部会では、「マイ箸づくり」のブースを出展しました。当日は長い待ち行列が発生するなど、人気を博していました。



青年部会「マイ箸づくり」



新年子どもまつり会場

保坂 展人 世田谷区長より新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、世田谷工業振興協会の会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より、区内産業振興、地域経済の発展のためご尽力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は区制施行90周年を迎え、記念式典において世田谷工業振興協会から森 忠保 様と鷲尾 廣蔭 様を表彰させていただきました。お二方は多年に渡り世田谷工業振興協会の要職を務められ、区内産業の発展にご尽力いただきました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

本年は、区制100周年に向け新たな一步を踏み出す年となりますが、区では現在、これからの区政の指針となる「世田谷区基本計画」の策定を進めています。基本計画では産業政策も重要な柱となりますが、中でも工業やものづくりの振興は区民生活を支え、豊かにする大変重要な役割を持つものと考えています。これからも皆様方のお力を賜りながら、共に新たな世田谷区の歴史を開く1ページをつくっていきたくと考えています。

また、区では、住宅都市世田谷という特性を踏まえ、区内工業の発展と振興という施策と併せ、居住環境と操業環境を調和させた「住工共生まちづくり」を推進しています。現在、準工業地域を中心にワークショップの開催や住工共生まちづくり推進活動の展開など「自分たちの町にこんなすごい産業がある」と思ってもらえるよう取り組みを進めていますが、そのような取り組みは区だけでは困難で、実際にものづくりに携わっておられる皆様方のご協力が不可欠です。今後とも、こうした施策を通じて地域産業の振興、地域社会の発展にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、世田谷工業振興協会のますますのご発展と、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



【保坂区長 来局】12月20日

年末の挨拶に、保坂区長が世工振事務局を訪れ、事務局員の日頃の労をねぎらわれました。



【世工振】「新時代！環境経営と企業力改善セミナー」を開催しました

長期化するコロナ禍やウクライナ情勢、更には円高、資源高など先行きの見えない経済情勢のなか新たに期待されるイノベーション像とは何かを考えるセミナーを開催しました。

- ◆「食料危機を乗り切る『経済安全保障』とは」 講師 末松 広行 氏(東京農業大学 特命教授)
12月7日 15:00～16:30 32名参加

➤現在直面している食料危機に対し、多くのデータを用い、例えば、バイオエタノールの需要拡大による食料高騰など様々な事象を解説。食料の安全保障は、自給率の向上、安定的な輸入、有事に備えた備蓄と指摘された。

- ◆「2025年大阪・関西万博が描く未来の社会と技術～1970年万博を超えて」
講師 宮内 貞一 氏 (日本経済新聞 編集委員)

12月15日 15:00～16:30 32名参加

➤70年の大阪万博や上海・ドバイ万博と比較し、2025年大阪・関西万博を説明。未来社会に向けた実証実験として、地域活性化に向けた視点で解説された。

参加者からは質疑応答時間を超えるほどの多くの質問があり、盛況のうちに終了しました。



末松氏



宮内氏

